



森小学校だより

校長の話 周りの人のために できること

はきものをそろえると心もそろう 心がそろうとはきものがそろう
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない
だれかがそろえておいたら 世の中の人の心もそろうでしょう

これは、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもと こうほう）さんが作った「はきものをそろえる」という詩です。先日、校舎を巡っていたときにふとトイレを見ると、スリッパ



を見てとても気持ちのよい思いをしました。それだけでトイレがすっきりと整って見えます。では、はきものをそろえるのは見た目だけをよくするものなののでしょうか？

永平寺というお寺の開祖である道元禅師という方が、「はきものをそろえる」ということを修行の中に取り入れたそうです。はきものをそろえることは「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていました。ですから、はきものが散らかっていると心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いているということです。1月に5年生の皆さんが観音山少年自然の家に2泊3日の宿泊訓練に出掛けました。お隣の宮園小の5年生と一緒に野山や沢での体験活動をしました。また、食事の準備や布団の上げ下ろしなども自分自身で行い、集団生活を学ぶ場でもありました。2日目の午後、私がトイレに行ったときです。ある男の子が自分の使ったスリッパをきちんとそろえていました。そればかりでなく、他の向きがばらばらになっているスリッパを丁寧にそろえる姿を見て感心しました。自分の使ったはきものを脱ぎっぱなしにするという行動は、後から来る人のことを考えていない行動です。しかし、自分のはきものをそろえることができる人は自分の行動や周りのことがしっかりと分かっている、他の人が乱してしまったものも黙ってそろえることができる人で



す。自分のことを落ち着いて見つめたり、考えたりして行動することはとても大切なことだと思っています。自分のことだけでなく、「ちょっと見て、隣のはきもの（靴）をそろえてあげられる」それだけで自分の心が整い、何かすっきりとした気持ちにもなるのではないのでしょうか。そして、毎日、周りの人のためにちょっとしたことができる子が一人でも二人でも増えていったとしたら、それはとても素敵なことだと思っています。

大谷選手からグローブが届きました

大谷選手からグローブが三つ（右利き用が二つ、左利き用が一つ）届きました。6年生の児童が中心となって「大谷選手のグローブお披露目会」を行い全校児童に披露しました。とても素敵なグローブは今、各学級を順番に回っています。



愛校活動

2月3日(土)に、PTAの愛校活動を行いました。PTA環境部の皆さん、5・6年生保護者、6年生児童が参加して、運動場の防塵材散布、エアコンフィルタや扇風機、窓の清掃等を行いました。学校がとてもきれいになりました。御協力ありがとうございました。

資源回収の収益金を有効に活用させていただきました

本年度の資源回収の収益金で、一輪車の修理とソフトバレーボール、ソフトドッジボールを購入させていただきました。本年度も資源回収への御協力ありがとうございました。

「高林賞」助成対象者募集のお知らせ

「高林賞」は、町の未来を担う青少年がスポーツ活動や文化活動に励みあるいは関心を持ち、健全な心と身体を有する人材を育てることを目的としています。本年度も森町体育協会から助成対象者の募集のお知らせがきました。助成対象や応募等については、森町総合体育館内の高林賞事務局まで直接お問い合わせください。

6スマイル交流

1～5年生が、6年生と「6スマイル交流」を行いました。昼休みにドッジボール、けいどろ等、学級ごとに決めた内容の遊びを行い、卒業前の6年生と楽しいひとときを過ごしました。とてもよい思い出ができました。



3月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	金	B5日課 6年生を送る会 弁当持参	12	火	A5日課
4	月	委員会活動	13	水	B5日課
5	火	A5日課	15	金	B5日課 給食最終日
6	水	B日課 読み聞かせ 通学班会 集団下校	18	月	B4日課 修了式 5年卒業式準備⇒ 5年弁当持参
7	木	1年のみ4時間授業(給食なし)	19	火	卒業式(5・6年) 1～4年休み
8	金	1～4年 B4日課 5・6年卒業式予行⇒ 5・6年弁当持参	20	水	(祝)春分の日
11	月	A5日課	26	火	送別式(8:00 登校 11:45 下校)
			春休み 4月4日(木)まで		